

田尻町教育委員会  
点検・評価報告書  
(平成29年度実施事業)

平成30年9月  
田尻町教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、自らが毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、同法に基づき田尻町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して取りまとめたものです。

今後とも点検評価の結果を事業改善に役立てながら、よりよい教育の実現を目指してまいりたいと考えますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 30 年 9 月

田尻町教育委員会

# 目 次

1	点検評価の概要	1
	(1) 点検・評価の目的	1
	(2) 点検・評価の方法	1
	(3) 学識経験者の知見活用	1
2	平成29年度田尻町教育方針	2
3	平成29年度田尻町教育目標	2
	◇学校教育	2
	◇家庭教育・幼児教育	3
	◇社会教育	3
4	田尻町教育委員会の教育行政・教育財政	4
	(1) 教育行政	4
	(2) 教育財政	10
5	点検評価	13
	委員会活動評価委員の意見(外部評価)	13

## 平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票(平成29年度実施事業)

### ○学校教育

#### ◆「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

・小中一貫教育推進事業(国際理解教育推進事業を含む)	16
・英語指導助手(ALT)配置事業	17
・人権教育推進事業	18
・特別支援・教育相談等事業	19
・学校給食事業	20
・学校園介助員配置事業	21
・小・中学校就学奨励事業	22
・クラブ活動奨励事業	23
・教職員指導力向上事業	24
・教育行政円滑推進事業	25
・適切な学校評価と学校評議員制度の活用	26
・教育コミュニティづくり推進事業	27
・放課後児童健全育成事業(なかよし学級)	28
・教育情報の発信事業	29

#### ◆教育環境の整備充実

・小・中学校施設・整備の充実事業	30
・子どもの安全見まもり事業	31
・防災教育の充実と危機管理体制の確立	32

### ○家庭教育・幼児教育

#### ◆『生きる力』を育むための基盤づくり

・幼稚園経営事業	33
・幼稚園給食事業	34
・幼稚園就園補助事業	35

### ○社会教育

#### ◆生涯学習の推進

・生涯学習推進事業	36
・社会教育団体育成事業	37
・子ども・若者育成支援事業	38
・生涯スポーツ振興事業	39
・KIX泉州国際マラソン事業	40

#### ◆郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用

・町史編纂・文化財保護事業	41
---------------	----

# 1 点検・評価の概要

## (1) 点検・評価の目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。

その役割は、専門的な行政官で構成されている事務局を様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民に信頼される教育行政を推進することを目的としています。

## (2) 点検・評価の方法

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定する教育委員会の権限に属する事務のうち、教育方針・教育目標に掲げた主要な施策・事業についての事務の管理及び執行状況を点検・評価個票により各所管課が可能な限り定量評価を実施しています。

## (3) 学識経験者の知見活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、点検・評価の実施及び報告書の作成にあたっては、評価委員として元教育長の道浦達久氏、二澤隆史氏より総合的な観点からご指導・ご助言をいただきました。

### 【参 考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務〔前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。〕の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 平成 29 年度田尻町教育方針

21 世紀の大きく変動する社会情勢の中、子どもたちに求められているのは、自分の個性を伸ばしながら、価値観の変動する時代をたくましく生きぬいていく力です。本町の教育は、「第 4 次田尻町総合計画」に掲げる『「生きる力」を育む 保幼小中 一貫教育の推進』に基づき、家庭・地域から信頼される安全・安心な学校園所づくりに努め、確かな学力を身につけた心豊かでたくましい「田尻の子」を育みます。

学校教育では、「本町がめざす子ども像」の実現に向け、外国語活動・英語教育を柱として、国際社会を主体的に生きる上で必要な資質や能力を培うとともに、道德教育のさらなる充実により、豊かな心を持った児童・生徒を育成する保幼小中一貫教育に取り組みます。そのためには、教職員の協働、保護者や地域の理解・協力により、子どもたちが健やかに育つ教育環境づくりに努めます。

家庭教育、幼児教育では、一元化保育に基づいた一貫性のある保育・教育ができるよう、保育内容の充実を図り、小・中学校と連携して学びの連続性を確保していきます。また、家庭での子育てが将来の人格形成に大きな役割を果たすことを認識し、保護者への積極的な子育て支援を行っていきます。

社会教育では、町民の一人ひとりが生涯を通じて、生き生きと学ぶことができるまちづくりの形成に取り組みます。町民の自主的な社会参加活動の成果を活かして地域に還元できる環境づくりに取り組み、学習機会の確保や情報提供の充実にも努めます。そのためには、生涯学習推進の拠点施設である公民館における様々な活動の積極的取り組みと社会教育団体等との連携を推進することなどにより、地域が主体となった教育環境の充実と学校・家庭・地域をつなぐ教育コミュニティの醸成に努めます。

また、これまで起こった自然災害の教訓を生かして、子どもたちが自らの命を守りぬくための、主体的な態度の育成に努めると共に、交通安全や不審者への対応など、実践的な態度を培うことは、「生きる力」を育むことにつながるため、関係機関と連携しながら、組織的・計画的な防災教育及び安全教育の推進に努めます。

## 3 平成 29 年度田尻町教育目標

### ◇学校教育

#### 1 「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

##### (1) 「確かな学力」を培う教育の推進

- ・就学前からの外国語活動・英語教育の推進
- ・少人数指導、習熟度別指導等による授業方法の工夫・改善
- ・基礎基本の定着と学習習慣確立に向けた放課後学習支援体制の推進
- ・発達段階に応じた読書活動の推進
- ・ICT を活用した教育の推進

##### (2) 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

- ・心に響く道德教育の充実
- ・実践的な態度を養う人権教育の推進
- ・個別の教育支援計画の活用による特別支援教育の推進
- ・関係機関との連携を密にした教育相談機能の充実
- ・学校給食の充実と食育の推進
- ・全教育活動をとおして行う児童生徒の体力向上

- (3) 教員の資質・能力の向上
  - ・教職員のニーズに応じた研修の実施
  - ・教員一人ひとりの授業力向上につながる支援の実施
  - ・評価、育成システムの活用
- (4) 地域に開かれた信頼される学校園所づくり
  - ・適切な学校評価と学校評議員制度の活用
  - ・家庭や地域に対する積極的な教育情報の発信
  - ・教育コミュニティへの参画協働

## 2 教育環境の整備充実

- (1) 学校施設の整備
  - ・保育所・幼稚園及び中学校における非構造部材等耐震改修工事
  - ・小学校及び中学校空調設備の老朽化に伴う整備工事
  - ・ICT 環境整備の推進
- (2) 学校安全体制の確保
  - ・防災教育の充実とさまざまな事態を想定した危機管理体制の確立

### ◇家庭教育・幼児教育

- 1 『生きる力』を育むための基盤づくり
  - (1) 幼保一元化によるさらなる保育・教育内容の充実
  - (2) 保育所・幼稚園と小・中学校との連携推進
  - (3) 保育所・幼稚園における子育て支援体制の充実

### ◇社会教育

- 1 生涯学習の推進
  - (1) 各種団体との連携及び自主運営にむけた支援による活性化
  - (2) 教育コミュニティの醸成（学校支援地域本部事業）
  - (3) 青少年の健全育成と豊かな社会性の涵養
  - (4) 公民館活動の活性化
  - (5) 生涯スポーツの振興
- 2 郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用
  - (1) 歴史館耐震診断に基づく更なる活用方法の検討等

## 4 田尻町教育委員会の教育行政・教育財政

### (1) 教育行政

#### ア 教育委員会

教育の中立と教育行政の安定性を確保し、教育・文化の振興を図るため、田尻町の教育に関する業務は、町長から独立した行政委員会である教育委員会が担っています。

田尻町教育委員会は、教育長と4人の委員で構成されています。教育長は教育行政に関する識見を有する者のうちから、委員は教育・学術及び文化に関する識見を有する者のうちから、それぞれ議会の同意を得て町長が任命します。任期は教育長が3年間、委員が4年間です。

#### イ 教育委員

平成29年度

氏名	職務	任期
和田 弘之	教育長	平成27年4月1日 ～ 平成30年3月31日
堀江 正也	教育長職務代理人	平成23年10月1日 ～ 平成31年9月30日
庄司 直子	委員	平成12年11月10日 ～ 平成32年11月9日
濱田 智美	委員	平成22年10月1日 ～ 平成30年9月30日
矢嶋 清美	委員	平成24年10月1日 ～ 平成32年9月30日

#### ウ 教育委員会会議

教育委員会会議は毎月開催しています。平成29年度は定例会議を12回開催し、議案22件、報告事項40件を審議承認しています。各会議の議決案件等は下記のとおりです。

##### 第1回定例会議 平成29年4月7日開催

議案第1号 「平成29年度田尻町教育方針」及び「平成29年度田尻町教育目標」について

議案第2号 平成30年度小学校使用教科用図書（道徳）採択に係る泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会の設置及び協議会規約等への同意について

議案第3号 後援名義の使用「NIPPONみやげコンテスト」について

議案第4号 平成28年度第12回田尻町教育委員会会議録の承認について

議案第5号 田尻町社会教育委員の推薦について

報告第1号 後援名義使用承認「中学校・高等学校進学フェア」について

報告第2号 後援名義使用承認「第10回わんぱく相撲 泉佐野場所」について

報告第3号 後援名義使用承認「おじいちゃん・おばあちゃんと童謡・唱歌と昔遊び体験」について

報告第4号 教育委員会関係行事について

報告第5号 平成28年度末、平成29年度当初田尻町立学校教職員等人事異動について

報告第6号 平成29年度 教育関係予算について

## 第 2 回定例会議 平成 29 年 5 月 19 日開催

- 議案第 6 号 施設整備計画の事後評価についてについて
- 報告第 7 号 後援名義使用承認「第 54 回 教育者研究会」について
- 報告第 8 号 後援名義使用承認①「チャイルドラインはらっぱ」の開催  
②子どもの声を聴く「チャイルドラインはらっぱ」受け手ボランティア養成講座（子どもの声を聴くおとな養成講座 2017）の開催
- 報告第 9 号 教育委員会関係行事について

## 第 3 回定例会議 平成 29 年 6 月 16 日開催

- 議案第 7 号 田尻町私立幼稚園補助金交付規則一部改正の件について
- 報告第 10 号 後援名義使用承認「MOA美術館泉佐野・田尻児童作品展」について
- 報告第 11 号 後援名義使用承認「第 17 回 伝えよう！命のつながり」について
- 報告第 12 号 後援名義使用承認「モラロジー生涯学習セミナー」について
- 報告第 13 号 後援名義使用承認「第 14 回 泉州 YOSAKOI 忍えじゃないか祭り」について
- 報告第 14 号 後援名義使用承認「夏季 短期水泳教室」について
- 報告第 15 号 田尻歴史館耐震診断の結果について
- 報告第 16 号 教育委員会関係行事について

## 第 4 回定例会議 平成 29 年 7 月 21 日開催

- 議案第 8 号 後援名義使用承認「公益社団法人泉佐野青年会議所 8 月度公開例会（講師例会・テーマ：私が一番受けたいココロの授業）」について
- 議案第 9 号 平成 30 年度使用泉南郡小学校教科用図書採択について
- 議案第 10 号 後援名義使用承認「大阪府公立小学校家庭科教育研究会」について
- 議案第 11 号 後援名義使用承認「部落解放研究第 51 回全国集会」について
- 報告第 17 号 後援名義使用承認「第 25 回泉州国際市民マラソン」について
- 報告第 18 号 後援名義使用承認「田尻町人権協会 平成 29 年度総会記念講演会」について
- 報告第 19 号 教育委員会関係行事について

## 第 5 回定例会議 平成 29 年 8 月 18 日開催

- 議案第 12 号 田尻町教育委員会点検・評価報告書（平成 28 年度実施事業）について
- 報告第 20 号 後援名義使用承認「たじり子ども防災キャンプ～ジュニア防災リーダー養成」について
- 報告第 21 号 後援名義使用承認「第 6 回 あのねフェスティバル」について
- 報告第 22 号 田尻歴史館の耐震診断結果及び実施設計業務について
- 報告第 23 号 教育委員会関係行事について

## 第 6 回定例会議 平成 29 年 9 月 8 日開催

- 報告第 24 号 教育委員会関係行事について



**第 7 回定例会議 平成 29 年 10 月 13 日開催**

- 議案第 13 号 田尻町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について
- 報告第 25 号 後援名義使用承認「平成 29 年度泉南郡小学校音楽会」について
- 報告第 26 号 教育委員会関係行事について

**第 8 回定例会議 平成 29 年 11 月 10 日開催**

- 議案第 14 号 田尻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び田尻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件について
- 報告第 27 号 後援名義使用承認「小学生の税に関する習字の展示及び表彰」について
- 報告第 28 号 教育委員会関係行事について

**第 9 回定例会議 平成 29 年 12 月 8 日開催**

- 議案第 15 号 後援名義使用承認「第 50 回全国保育団体合同研究集会」について
- 議案第 16 号 後援名義使用承認「連携事業成果報告会」について
- 報告第 29 号 後援名義使用承認「第 41 回泉南人研研究集会」について
- 報告第 30 号 後援名義使用承認「育てあい 育ちあいフェスタ 2018 つながりはぬくもり 14」について
- 報告第 31 号 後援名義使用承認「イルミネーション in たじり 2017」について
- 報告第 32 号 教育委員会関係行事について
- 報告第 33 号 田尻町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則一部改正の専決処分の件について

**第 10 回定例会議 平成 30 年 1 月 12 日開催**

- 議案第 17 号 田尻町一時預かり事業（幼稚園型）実施規則制定の件について
- 議案第 34 号 後援名義使用承認「くらたんワイワイ祭り」について
- 報告第 35 号 後援名義使用承認「たじりワイワイフェスタ 2018」について
- 報告第 36 号 教育委員会関係行事について

**第 11 回定例会議 平成 30 年 2 月 9 日開催**

- 議案第 18 号 田尻町就学奨励費支給規則の一部改正の件について
- 報告第 37 号 教育委員会関係行事について

**第 12 回定例会議 平成 30 年 3 月 16 日開催**

- 議案第 19 号 田尻町学校給食費徴収規則一部改正の件について
- 議案第 20 号 「平成 30 年度田尻町教育方針」及び「平成 30 年度田尻町教育目標」について
- 議案第 21 号 田尻町スポーツ推進委員の推薦について
- 議案第 22 号 田尻町社会教育委員の推薦について
- 報告第 38 号 教育委員会関係行事について
- 報告第 39 号 後援名義使用承認「第 11 回わんぱく相撲 泉佐野場所」について
- 報告第 40 号 後援名義使用承認「硬式テニス教室」について

## エ 総合教育会議

地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的として、総合教育会議を開催しました。

日 時 平成 29 年 6 月 16 日（金） 午後 4 時～午後 5 時 5 分

場 所 田尻町総合保健福祉センター 4 階 会議室

出席者 町長、教育長、教育長職務代理人、委員 3 名

テーマ 田尻町の教育行政について

## オ 教育委員の活動状況

### ○研修等

#### ①泉南郡三町教育委員会連絡協議会定期総会・研修会

日 時 平成 29 年 4 月 28 日（月） 午後 2 時～午後 4 時

場 所 岬町役場 2 階 第 1 会議室

内 容 定期総会

研修会 講演 学習指導要領の改訂の概要及び「特別の教科 道徳」の実施に向けて」

（大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課 主任指導主事 寺田 剛 氏）

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 2 名

#### ②大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会・研修会

日 時 平成 29 年 5 月 29 日（月） 午後 2 時～午後 4 時 15 分

場 所 ホテルアウィーナ大阪 3 階 信貴の間

内 容 定期総会

研修会 講演 新学習指導要領について

（大阪府教育庁 市町村教育室 小学校課参事 舩田 千佳 氏）

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 2 名

#### ③大阪府町村教育委員会連絡協議会 夏季研修会

日 時 平成 29 年 8 月 17 日（木） 午後 1 時～午後 3 時 30 分

場 所 豊能町立中央公民館

内 容 第 1 部 講演 いじめ問題と教育行政

（いぶき法律事務所 弁護士 三木 憲明 氏）

第 2 部 現地視察 高山右近の生誕地を訪ねて

（案内 豊能町教育委員会 生涯学習課長 小嶋 均 氏）

出席委員 教育長、教育長職務代理人、委員 3 名

#### ④泉南地区教育委員会連絡協議会

日 時 平成 29 年 8 月 24 日（木） 午後 4 時～午後 5 時 30 分

場 所 スターゲイトホテル関西エアポート 4 階 会議室 真珠の間

内 容 協議会

講演 大阪の教育、今とこれから ―泉南地区にスポットを当てながら―

（大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課長 坂本 俊哉 氏）

出席委員 教育長職務代理人、委員 2 名

⑤大阪府市町村教育委員会研修会

日 時 平成 29 年 11 月 6 日 (月) 午後 2 時～午後 4 時

場 所 ホテルアウリーナ大阪 4 階 金剛の間

内 容 講演 「特別の教科 道徳」の全面実施を前にして

～主体的・対話的で深い学びがある「道徳科」の実現をめざして～

(四天王寺大学 教育学部教育学科准教授 杉中 康平 氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理者、委員 2 名

⑥泉南地区教育委員研修会

日 時 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 4 時

場 所 和泉学園

内 容 施設説明および見学

出席委員 教育長、教育長職務代理者、委員 3 名

⑦市町村教育委員研究協議会

日 時 平成 30 年 1 月 16 日 (火) 午後 1 時 00 分～午後 4 時 30 分

場 所 グランキューブ大阪 (大阪国際会議場) 会議室

内 容 第 1 部 行政説明 初等中等教育施策の動向について

(文部科学省 初等中等教育局企画官 佐藤 人海 氏)

第 2 部 研究分科会 働き方改革について (グループ討論)

出席委員 教育長職務代理者、委員 1 名

⑧大阪府市町村教育委員会連絡協議会 冬季研究会

日 時 平成 30 年 1 月 23 日 (火) 午前 10 時 30 分～午後 2 時 00 分

場 所 太子町役場 1 階 万葉ホール

内 容 第 1 部 講演 「いじめ問題対策」

～重大事態の対処を中心に組織対応のイロハ～

(長野総合法律事務所 弁護士 笠原 麻央 氏)

第 2 部 現地視察 日本遺産の竹内街道を散策

(太子町教育委員会事務局 生涯学習課 主任 鍋島 隆宏 氏)

出席委員 教育長、教育長職務代理者、委員 1 名

○教育委員の学校等施設訪問及び校長園長所長事務局との意見交換会

教育委員が教育行政の充実に資するため、学校の現状や教職員の考え等を把握することを目的に中学校長、小学校長、幼稚園長、保育所長との意見交換を行いました。

日 時 平成 29 年 5 月 19 日 (金)

訪 問 校 田尻町立中学校、田尻町立小学校

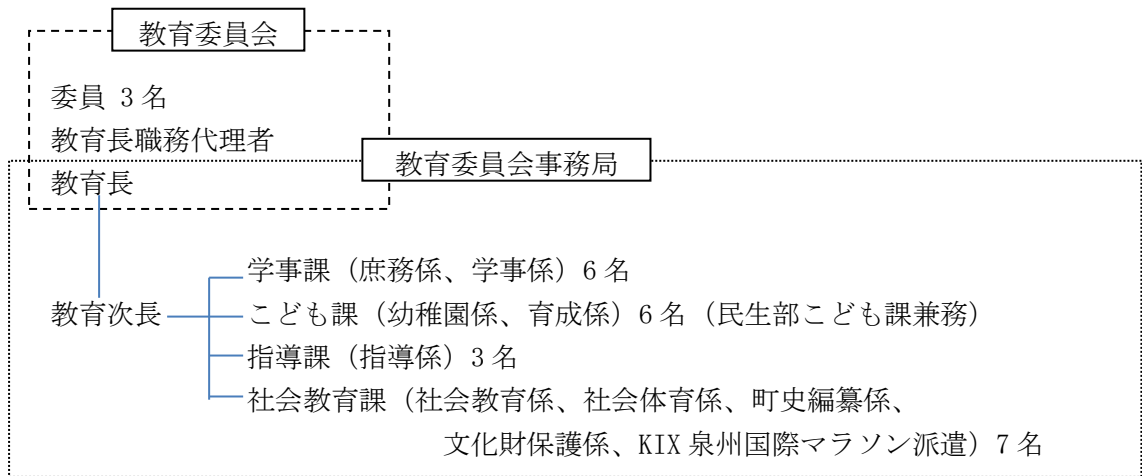
出席委員 教育長、教育長職務代理者、委員 3 名

○教育委員関係行事等への参加

平成 29 年度中に教育委員が教育委員会各課の所管する行事等に参加しました。

	4 月 1 日 (土)	保育所入所のつどい
平成 29 年	4 月 6 日 (木)	中学校入学式
	4 月 7 日 (金)	小学校入学式
	4 月 10 日 (月)	幼稚園入園式
	6 月 3 日 (土)	小学校運動会
	9 月 20 日 (水)	中学校体育大会
	9 月 30 日 (土)	幼稚園・保育所運動会
	11 月 9 日 (金)	中学校合唱コンクール
	12 月 2 日 (土)	幼稚園・保育所音楽会
	1 月 7 日 (日)	成人式
平成 30 年	3 月 14 日 (水)	中学校卒業式
	3 月 16 日 (木)	小学校卒業式
	3 月 20 日 (火)	幼稚園・保育所修了式

カ 教育委員会の組織と事務局職員数 (平成 29 年 4 月 1 日現在)



## (2) 教育財政

### ア 教育費の推移

下表は、平成 25 年度の決算額を基準の指数とした過去 4 年間の決算額を各項目別に比較しています。

(単位:千円)

	平成25年度	指数	平成26年度	指数	平成27年度	指数	平成28年度	指数	平成29年度	指数
教育費総額 (A)	458,091	100	450,204	98	447,922	98	513,210	112	662,297	145
教育総務費	118,458	100	114,661	97	117,015	99	119,329	101	203,056	171
小学校費	40,634	100	50,055	123	54,315	134	107,691	265	82,204	202
中学校費	70,965	100	37,170	52	35,425	50	36,267	51	126,683	179
幼稚園費	47,342	100	56,577	120	59,617	126	54,927	116	52,210	110
学校給食費	61,593	100	62,738	102	63,268	103	63,795	104	75,339	122
社会教育費	94,731	100	95,062	100	105,871	112	118,895	126	111,801	118
保健体育費	24,368	100	33,941	139	12,411	51	12,306	51	11,004	45
一般会計歳出 (B)	5,022,142	100	4,788,394	95	5,226,614	104	5,520,254	110	10,050,616	200
A/B	9.1%		9.4%		8.6%		9.3%		6.6%	

### イ 教育施設

( ※在籍園児・児童・生徒数は、平成 29 年 5 月 1 日現在 )

#### ■田尻町立幼稚園

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 432 番地 1
- ・敷地面積 3,721 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 鉄筋コンクリート造 2 階建 (平成 15 年築)
- ・在籍園児数 3 歳児 20 人 (1 学級)、4 歳児 18 人 (2 学級)、5 歳児 26 人 (2 学級)  
※保育所児との混合編成

#### ■田尻町立小学校

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 690 番地
- ・敷地面積 8,599 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 旧 館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 35 年築)  
新 館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 50 年築)  
管理棟・体育館：鉄筋コンクリート造 3 階建 (昭和 61 年築)  
給食室：鉄骨造平屋建 (昭和 50 年築)
- ・在籍児童数 1 年生 87 人 (3 学級)、2 年生 77 人 (3 学級)、3 年生 84 人 (3 学級)  
4 年生 93 人 (3 学級)、5 年生 95 人 (3 学級)、6 年生 72 人 (3 学級)  
支援 31 人 (4 学級)

■田尻町立中学校

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 412 番地 1
- ・敷地面積 8,351 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 旧 館：鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 38 年築)  
新 館：鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 52 年築)  
体育館：鉄筋コンクリート造 2 階建(昭和 44 年築)  
給食室：鉄骨造平屋建(昭和 50 年築)
- ・在籍生徒数 1 年生 100 人(3 学級)、2 年生 85 人(3 学級)、3 年生 81 人(2 学級)  
支援 5 人(2 学級)

■田尻町立公民館

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 1120 番地 2
- ・敷地面積 2,437,70 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 鉄筋コンクリート造 3 階建(昭和 57 年築)

■田尻歴史館（愛らんどハウス、大阪府指定有形文化財、近代化産業遺産）

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 1101 番地 1
- ・敷地面積 3,864 m<sup>2</sup>（借地 628 m<sup>2</sup>含む）
- ・構造・建築年 洋 館：煉瓦造 2 階建（大正 11 年築）  
和 館：木造 2 階建寄棟造（大正 11 年築）  
茶 室：木造 2 階建寄棟造（建築年不詳）  
北 蔵：木造平屋建（建築年不詳）  
中 蔵：土蔵造 2 階建（大正 11 年築）  
南 蔵：土蔵造 2 階建（大正 11 年築）

※平成 28 年度より耐震診断工事等のため閉館中

■田尻町多目的グラウンド（潮風グラウンド、シーサイドドーム）

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 883 番地 5
- ・敷地面積 14,048 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 屋外グラウンド：ナイター照明付野球場（平成 10 年竣工）  
屋内グラウンド：ドーム型膜構造鉄筋コンクリート造（平成 10 年築）

■田尻町立尾張池スポーツ公園・第 1 テニスコート

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 134 番地 1
- ・敷地面積 18,869 m<sup>2</sup>（一部共有地）
- ・構造・建築年 尾張池スポーツ公園（昭和 58 年竣工）  
テニスコート 1 面（昭和 60 年竣工）

■田尻町営プール

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 713 番地 2
- ・敷地面積 1,713 m<sup>2</sup>
- ・構造・建築年 25mプール 1、こども用円形プール 1 (昭和 41 年竣工)  
管理棟：鉄筋コンクリート造平屋建 (昭和 41 年築)

■田尻町駅前広場 (田尻町立中学校総合運動場を廃止 平成 23 年 3 月 31 日)

- ・所在地 大阪府泉南郡田尻町吉見 425 番地 1
- ・敷地面積 8,096.65 m<sup>2</sup>

## 5 点検・評価

平成 29 年度の教育委員会事務局各課の懸案事項など主要な施策・事業を教育方針・教育目標に掲げた体系を基に抽出し整理しました。

また、事業実施担当課において、点検・評価票を用い、施策・事業の目的に対して可能な限り定量評価を行いました。

### ○教育委員会活動評価委員会委員の意見（外部評価）

#### ◇学校教育

##### 1 「生きる力」を育む『保幼小中一貫教育』の推進

###### (1) 「確かな学力」を培う教育の推進

本町がめざす子ども像の実現に向けて、学校園の交流活動の拡充を図り、15 年間の学びをつなぐカリキュラムを基に「保幼小中一貫教育」を推進していく姿勢は重要である。

特に、今まで取り組んできた英語教育については、今後も継続・発展させることはもちろん、ICT、学校行事、道徳教育等、より小中の連携が深められるようにするとともに、学力向上に係る「学習意欲、学習習慣」の育成に努めること。

###### (2) 「豊かな心」と「健やかな体」の育成

学校給食事業については、平成 30 年度より保護者負担はそのままに 1 品増やして 5 品とする検討など学校給食の一層の充実を図るとともに食育の推進を今後も図っていくこと。

人権教育や特別支援・教育相談についても、その必要性が年々高まっていることを受けて、学校組織全体の意識向上に努めるとともに関係機関との情報共有を図り、体制整備のより一層の充実を図られたい。

また、全教育活動やさまざまな体験を通した「豊かな心」と「健やかな体」の育成に努めること。

###### (3) 教員の資質・能力の向上

平成 30 年度からの道徳科、32 年度からの外国語科の教科化等、次期学習指導要領に対応した指導方法の工夫改善や子どもに育むべき力を理解し、向上心をもって学び続ける必要があることから、教育のキャリアステージに合わせた資質能力の向上をめざして、教員個々の適性や能力に応じた的確な目標設定をし、研修を進めていくこと。特に校内研修の更なる充実に努めること。

###### (4) 地域に開かれた信頼される学校園所づくり

家庭・地域・学校が連携協力を図り、1 小 1 中である利点を活用した田尻にあった形で地域ぐるみでの教育活動の充実に取り組んでいただきたい。また、町ホームページに加えてフェイスブックの活用を図るなど、積極的に情報発信を進めている姿勢は伺えるが、より地域に開かれた学校園づくりのための情報発信の更なる充実に努めること。



## 2 教育環境の整備充実

### (1) 学校施設の整備

児童・生徒が安心して通学し、充実した内容の教育を受けることができるよう、安全面や衛生面などに考慮しながら、学校教育施設・整備の計画的な改善に努め、学校教育環境の向上を図っていく中でも、平成 29 年度においては、幼稚園・中学校の非構造部材耐震改修等工事及び小・中学校の空調設備の更新工事と大規模な工事が重なることになったが、すべて無事に終えることができたことは評価できる。次年度以降も大規模工事が予定されているが、引き続き計画的に改修を図っていくこと。

また、ICTの環境整備においては、昨年に引き続き迅速に対応して改善を図っているが、今後も時代の変化に対応する施設の整備を図っていくこと。

### (2) 学校安全体制の確保

学校の安全体制の確保という面では、常日頃から子どもたちを交通事故や犯罪等から守るために、地区会をはじめとする各種団体やボランティアで構成する子どもの安全見まもり隊の小学生の登校・下校時間に合わせたの見まもり活動は敬意を表するものである。今後も地域の子どもは地域で見守っていくという機運の醸成を図り継続していくこと。

また、防災教育の推進と安全確保のため、避難訓練も含めたソフト面での安全指導の充実を図っていくこと。

## ◇家庭教育・幼児教育

### 1 『生きる力』を育むための基盤づくり

#### (1) 保育所・幼稚園における子育て支援体制の充実

魅力ある幼稚園づくりを進めるためには、保育所運営とのメリットを活かした連携を行い、多様化するニーズに対応することが求められる。特に育児不安等を抱える悩みは減ることがなく、教育相談体制の必要性が求められている中で、専門家を配置しての相談体制の拡充と子育て知識や情報の提供など情報発信を図ること。

## ◇社会教育

### 1 生涯学習の推進

#### (1) 生涯学習の推進

田尻中学校区地域教育協議会（たじり t r y あんぐる）におけるこれまでの取組や活動は地域の教育力活性化や子どもたちの健全育成、ひいてはまちづくりにもつながるものである。今後も町と教育員会が連携し、地域力の向上に努めること。

また、生涯学習の拠点施設である公民館の役割を十分に発揮すべく、公民館講座や出前講座など様々な取り組みを行うにあたっては、住民ニーズを把握するとともにリーダー的人材の育成に努めること。

## (2) 郷土の歴史文化の理解と文化財の保存・活用

歴史館においては、平成 28 年度より長期休館となっているが、できるだけ速やかに再オープンできることを望む。

また、町史の活用に関しては、子どもたちに郷土愛を育んでいくという視点をもって、わかりやすく理解できるように提供するとともに、広報活動の充実と文化財の今日的活用（イベント等）を創意工夫し推進を図ること。

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	小中一貫教育推進事業(国際理解教育推進事業含む)	担当課	指導課
<b>2 事業の目標</b>	<p>”第4次田尻町総合計画”で示されている「田尻町であるからこそできる、将来に渡って発展・維持が可能な魅力あるまちづくりの創造」を視点として、連続性・系統性のある田尻町の教育を展開し、保幼小中一貫教育をめざす。とりわけ学校教育では、教育施策の柱として『小中一貫教育』を推進し、本町の子どもたちに「確かな学び」と「豊かな育ち」の実現を図る。</p> <p>また、学校・家庭・地域がそれぞれの責任を果たしながら連携協力し、新しい時代を切り拓く心豊かで、たくましい子どもの育成に努める。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p>義務教育の小学校6年間と、中学校3年間でそれぞれで完結するのではなく、9年間というスパンの中で子どもたちの育ちをつなぐという考えのもと、①教科指導からの学び、②生徒指導や人権教育で培う豊かな心、③さまざまな特別活動、を切り口としながら、連携教育として『小中一貫教育』に取り組む。</p> <p>特に平成29年度は、これまでの部会編成を見直し、英語教育を中心に、ICT、学校行事、道徳教育等、より小中の連携が深められるようにする。全教職員参加の研修会を継続して実施する。</p> <p>具体的には、</p> <p>【小学校】食育と道徳科のコラボ授業の実施</p> <p>【中学校】全生徒対象に、英検受験の補助</p> <p>【小・中】7月と8月に全教職員対象の研修会を実施</p> <p style="padding-left: 40px;">3月に実践交流会を実施し、各指導主事から次年度の取組に係る講話を実施</p>		
	決算額	1,578 千円	(うち特定財源 0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>本町のめざす子ども像実現に向けた研修会及び各部会を実施。 中学校全生徒対象に英検受験を実施。(3年生:10月、1・2年生:1月)</p> <p>【全教職員参加による研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月・・・小中一貫教育全体会</li> <li>・7月・・・講演会(和歌山大学教育学部 教授 豊田 充崇 氏)</li> <li>・8月・・・講演会(大阪府教育センター 指導主事 畑中 幸子 氏)</li> <li>・3月・・・実践交流会及び講話</li> </ul>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>本町がめざす子ども像の実現に向けて、今後も協議・運営組織の活性化を図り、学校園の交流活動の拡充及び15年間の学びをつなぐカリキュラムをもとに、『保幼小中一貫教育』を推進していくことが重要である。</p> <p>また今年度同様、英語教育についての取り組みを継続・発展させるために、町関係各課との連携を図り、子どもたちの国際感覚の醸成が必須だと考える。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	英語指導助手(ALT)配置事業	担当課	学事課・指導課
<b>2 事業の目標</b>	<p>小中学校を中心に、エンゼルにおいても外国人英語指導助手による英語教育の充実と英会話に慣れ親しむ機会をつくり、日常的な会話や簡単な情報交換等ができるよう実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p>【中学校】英語科の授業及び暗唱大会等での指導          【小学校】外国語の授業、異文化交流活動          【幼稚園】遊びを通しての英会話、異文化交流活動          【その他】国際理解教育推進事業の取り組みにおいて指導に関わる。(英検指導等)          平成25年8月よりALT雇用形態を町直接採用に変更し、月給制嘱託員として雇用。          平成28年度よりALTを2人体制で事業を実施している。</p>		
	決算額	7,011 千円	(うち特定財源 0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>平成28年度より、英語指導助手(ALT)を1名増員し、2名とすることで、幼稚園から中学校まで、すべての児童生徒に実践的なコミュニケーション能力を育むことができるようになった。          小学校では、平成32年度からの新学習指導要領による外国語の教科化に向け、平成30年度より先行実施による取り組みを始める。学級担任とALTによる授業を通じ、コミュニケーション活動を充実させ、伝え合う喜びや楽しさを通じ、相互理解を深めている。          中学校では、授業で4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく育成するため、ALTを活用した言語活動を充実させている。英語暗唱大会等の課外活動においても、ALTの指導のもと積極的に取り組んだ。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成          B : 概ね目標どおり達成          C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>小学校外国語と中学校英語科との円滑な移行を図るため、より一層の小中一貫教育の推進が必須である。          平成25年度から英語教育推進事業が始まり、近年ALTの役割への期待度も高まり、より効果的な活用に向けて学校園同士、学校と教委の連携を密にしていかなければならない。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施          B : 目標どおりに実施          C : 改善を加えて実施          D : 既に事業目的が達成できたため終了          E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	人権教育推進事業	担当課	指導課
2 事業の目標	<p>田尻町人権教育研究協議会 人権尊重の精神に徹し、すべての人権問題の解決をめざした人権教育の研究・実践・教材開発・研究部会の活動実践・大人教や泉南人研との連携を通して、人権教育の推進を図る。</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 町内全教職員の相互交流を軸に、研究や実践・教材開発・各種研修会や研究大会への参加等を通して、在日外国人教育の推進を図る。</p> <p>両研究協議会とも、保幼小中の全教職員で組織している。</p>		
3 事業の概要	<p>田尻町人権教育研究協議会 全教育活動を通じて、人権教育の指導方法の研究・改善を図るとともに、同和問題をはじめとする人権侵害に対する正しい認識と判断力を身につけた人間の育成を期するために補助を行う。</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 人権保障の国際状況について理解を深めるとともに、在日外国人問題を正しく理解し、民族的・人種的な偏見や差別意識の解消のために補助を行う。</p>		
	決算額	385 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>田尻町人権教育研究協議会 人権教育推進の中核的な位置にあり、全国人権教育研究協議会、大阪府人権教育研修協議会につながる町人権教育を推進する母体組織である。</p> <p>○ 活動実績: 1市3町人権研修 のべ42名            全国人権・同和教育研究大会(島根大会) 1名            大人教夏季研 20名、泉南人研研究集会 8名            総会・報告会 5回</p> <p>田尻町在日外国人教育研究協議会 国際化の進展に伴い、在日外国人教育の必要性は喫緊の課題となっており、在日外国人教育を推進する母体組織である。</p> <p>○ 活動実績: 大阪府在日外国人教育研究協議会総会 1名            大阪府在日外国人教育研究協議会大会 5名、総会・報告会 5回</p>		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	<p>両研究協議会は、人権諸課題について全教育活動を通じて学校組織全体として意識向上に努め、主体的に研究・実践を推進していくことが重要である。</p>		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	特別支援・教育相談等事業	担当課	こども課・指導課
2 事業の目標	<p>いじめ・不登校・行き渋り・非行・育児不安等の課題は増加し続け、教育相談体制の必要性の高まりから、その充実を図るとともに、カウンセラーとの連絡調整を円滑に進め、早期の気づき・的確な継続性のある支援を行っていく。</p> <p>また、障がいのある児童・生徒に対し、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい教育環境の向上に努める。就学相談や進路相談等、よりよい学校生活を送り、その後の進路選択に向けて適切な判断ができるよう各種関係機関との連携を図りながら教育相談を実施する。</p>		
3 事業の概要	<p>臨床心理士2名を教育心理相談員として委嘱し、就学前から義務教育までの教育相談を実施する。小学校では、「はっぴいルーム」、町相談事業では「たじりカウンセリングルーム」として、週1回相談事業を展開している。</p> <p>また、エンゼルでは、月2回程度の発達相談を行っている。</p> <p>個別の教育支援計画の見直し・改善、支援学校との協働研究の実施、地区支援教育研修会での研究等を行い、個々のニーズに応じた指導方法の工夫・改善に活用する。</p>		
	決算額	2,927 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>小学校「はっぴいルーム」は、年間38回(266時間)、「たじりカウンセリングルーム」は、年間45回(225時間)開設し、利用者数はのべ50人を超える。たじりエンゼルでは年間18回(117時間)開設し、利用者のはのべ41人になる。</p> <p>中学校では、大阪府教育委員会から派遣された臨床心理士によって年間35回(210時間)開設している。</p> <p>府立泉南支援学校との協働研究により、障がい理解教育の研究を進めている。教材開発に重点を置き、指導案・教具・教材等、指導者を問わず実践できる準備を整え、実際の出前授業を実施したことにより、教員の資質向上につながった。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>特別支援・教育相談等については、年々保護者への支援の必要性が高まっているように感じている。これまで以上に本人・保護者との合意形成を図るため、綿密な連携・説明が必要になっている。学校・各関係機関と情報共有を図り、体制整備のより一層の充実を図らねばならない。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	学校給食事業	担当課	学事課
2 事業の目標	<p>学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることに鑑み、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。</p>		
3 事業の概要	<p>学校給食法に基づく事業 本町では小・中学校で完全給食を実施</p>		
	<b>決算額</b>	75,339 千円	(うち特定財源 33,043 千円)
4 実績・点検評価	<p>(実績) 年間食数: 小学校107,412食、中学校42,761食 給食費: 小学校 230円～250円/食、中学校300円/食 給食委託料: 19,440千円 賄材料費: 40,293千円</p> <p>(評価) 学校栄養教諭1名を配置し、献立の作成については、小・中各PTA代表も委員として参加している田尻町学校給食献立作成委員会にて毎月の内容について検討・改善を行いながら進めてきた。 調理業務については、平成25年度から平成29年度までの5箇年契約で民間委託を実施しており、当該栄養教諭の管理指導のもと、安心・安全な給食を安定して提供することができた。 また、平成30年4月より学校給食の一層の充実を図るため、献立を1品増やし5品とするに当たり、学校給食場施設、機器の更新等を行った。</p>		
	<b>点検結果</b>	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけることが大切であり、子どもたちの生涯にわたる間断のない食育の推進を図っていく。 また、アレルギー対応について、国、大阪府が提示するガイドラインに準じ、本町においてもマニュアル作成等の対応に取り組んでいく必要がある。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	学校園介助員配置事業	担当課	こども課・学事課
<b>2 事業の目標</b>	障がいのある園児・児童・生徒が安全に適切な教育を受けることができるように支援するため、介助員を配置し、個に応じた指導の充実を図ることを目標とする。		
<b>3 事業の概要</b>	介助員は、学校園長及び学級担任等の指示・指導を受け、子どもの介助及び安全管理並びに学習の補助等を行う。		
	決算額	26,906 千円	(うち特定財源 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	平成29年度において、介助員を幼稚園に3名、小学校に14名、中学校に2名を配置したことにより、障がいのある子どもが安全に適切な教育を受けさせることができた。		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
<b>5 課題・対応策</b>	障がいのある子どもに対する個に応じた教育を充実させるため、教職員等のより一層の資質向上に向けた研修事業や介助員による子どもに対する安全教育の充実を図っていく必要がある。		
	方向性	B	A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施



**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	小・中学校就学奨励事業	担当課	学事課																							
<b>2 事業の目標</b>	経済的な理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、学校で必要な経費の一部の援助を行い、すべての児童・生徒が義務教育の円滑な実施に資することを目標とする。																									
<b>3 事業の概要</b>	保護者からの申請をもとに、町が定める要件により審査を行い、判定結果を保護者へ通知し、学期ごとに年間3回に分け保護者等へ就学援助費を支給する。																									
	<b>決算額</b>	8,061 千円 (うち特定財源 57 千円)																								
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>小・中学校長を通じて、すべての児童・生徒の保護者へ就学援助制度の周知を図ることで、経済的理由により就学困難と認められた児童・生徒の保護者に対する支援が適正に実施できた。</p> <p>また、平成29年度から開始した今年度より、府内においても先進的な取り組みとし、新入学学用品費について速やかな支給が行えるよう、入学前の年度に支給を行う入学前支給を実施できた。</p> <p>(認定状況)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">在籍者</th> <th style="width: 15%;">認定者数</th> <th style="width: 15%;">認定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">就学援助</td> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">539人</td> <td style="text-align: center;">57人</td> <td style="text-align: center;">10.58%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">271人</td> <td style="text-align: center;">38人</td> <td style="text-align: center;">14.02%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">入学前支給</td> <td>新小学1年生</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新中学1年生</td> <td></td> <td style="text-align: center;">9人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					在籍者	認定者数	認定率	就学援助	小学校	539人	57人	10.58%	中学校	271人	38人	14.02%	入学前支給	新小学1年生		6人		新中学1年生		9人	
		在籍者	認定者数	認定率																						
就学援助	小学校	539人	57人	10.58%																						
	中学校	271人	38人	14.02%																						
入学前支給	新小学1年生		6人																							
	新中学1年生		9人																							
	<b>点検結果</b>	A	<b>A : 目標を上回って達成</b> <b>B : 概ね目標どおり達成</b> <b>C : 目標を下回った</b>																							
<b>5 課題・対応策</b>	<p>児童・生徒数や認定率を予測したうえで、事業費の予算を確保する必要がある。</p> <p>また、今年度から実施した新入学学用品費の入学前支給について、対象児童・生徒が転出した場合など、他市町村との支給状況の確認が生じることから、支給状況等の管理業務の充実化を図る必要がある。</p>																									
	<b>方向性</b>	A	<b>A : 拡大して実施</b> <b>D : 既に事業目的が達成できたため終了</b> <b>B : 目標どおりに実施</b> <b>E : 事業の見直しが必要</b> <b>C : 改善を加えて実施</b>																							

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	クラブ活動奨励事業	担当課	学事課
<b>2 事業の目標</b>	<p>中学校教育において、クラブ活動は健全なる心身の育成や社会性の確立を図るうえで重要である。クラブ活動において、生徒が対外試合・各種大会等に積極的に参加しており、大会参加費用の一部を負担する。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p>田尻町立中学校部活動奨励費交付要綱に基づき、対外試合・競技大会・音楽会等に出場若しくは出演する生徒について、本町から開催地までの交通費等を生徒の保護者へ補助する。</p>		
	<b>決算額</b>	1,351 千円	(うち特定財源 0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>クラブ数:9(運動部4、文化部5)                      中学校の生徒の9割以上がクラブ活動へ参加しており、対外試合等への出場にあたり、交通費等の補助は保護者負担の軽減を図ることができた。また、近畿大会及び全国大会の実績は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿中学校総合体育大会陸上競技(8月 京都市)</li> <li>・全日本中学校陸上競技選手権大会(8月 熊本市)</li> <li>・ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月 横浜市)</li> <li>・近畿中学校総合体育大会 駅伝競走の部(12月 京都府宮津市)</li> <li>・全国中学校体育大会 第25回全国中学校駅伝大会(滋賀県野洲市)</li> </ul>		
	<b>点検結果</b>	B	<p>A : 目標を上回って達成                      B : 概ね目標どおり達成                      C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>近年、クラブ活動も含めた教職員の働き方改革が国でも議論されているところであり、田尻町としても今後、クラブ活動やクラブ活動奨励事業のあり方について検討する必要がある。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了                      B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要                      C : 改善を加えて実施</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	教職員指導力向上事業	担当課	指導課
2 事業の目標	<p>社会情勢の変動に伴い、学校・子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、遅く生き抜いていく子どもの育成をめざすため、より一層質の高い教育が求められ、その実現のために教員の資質能力に係るところが極めて大きくなっている。</p> <p>平成30年度からの道徳科、32年度からの外国語科の教科化等、次期学習指導要領に対応した指導方法の工夫改善や、子どもに育むべき力を理解し、向上心をもって学び続ける必要がある。</p> <p>そのため、教職員を対象に研修を実施し、資質能力の向上を図るとともに、教員としてあるべき姿を示し続ける研修内容の充実をめざす。</p>		
3 事業の概要	<p>支援教育・人権教育・生徒指導・子ども理解や教育課程をはじめ、授業づくり(道徳教育・英語教育・ICT教育等)のため、各キャリアに応じた研修を実施する。教員として身につけておくべき資質能力を、管理職研修・初任者研修・ミドルリーダー研修・事務職員研修等、役職ごとに必要な時期を鑑み、研修を実施する。</p>		
	決算額	0 千円 (うち特定財源	0 千円)
4 実績・点検評価	<p>若年化している学校現場のニーズに合わせ、基本的な知識・スキルを中心に、主に指導主事が日々関わり続けることで、資質能力の向上に資することができた。地域の子どもの実態を見極め、成長に導くため活躍できる教員の育成に向けて取り組むことができた。</p> <p>研究授業を伴う校(園)内研修での指導助言(幼稚園2回・小学校3回・中学校1回)            初任者研修(20回程度)            5年次研修・10年経験者研修(3回程度)            ICT研修(10回)            道徳教育(2回)            学力向上・授業づくり(30回程度)</p>		
	点検結果	A	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	<p>教員のキャリアステージに合わせた資質能力の向上をめざして、今日的な教育課題をテーマに研修を実施しているが、教員個々の適性や能力に応じた的確な目標を設定し、研修を進めていかなければならない。また、次々と生起する新たな教育課題への対応を行うため、今後も充実した教員研修が重要となる。</p>		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	教育行政円滑推進事業	担当課	学事課・指導課
<b>2 事業の目標</b>	教育委員会相互の連絡を緊密にし、教育行政の円滑な推進を図り、教育の振興発展に寄与することを目的とする。		
<b>3 事業の概要</b>	大阪府内の町村教育委員会の委員及び教育長をもって組織する町村教育委員会連絡協議会と、泉南郡三町(熊取町・田尻町・岬町)教育委員会の委員及び教育長をもって組織する泉南郡三町教育委員会連絡協議会があり、それぞれにおいて各種研修事業を実施する。		
	決算額	292 千円 (うち特定財源	0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>教育委員等研修は、郡三町教育委員会連絡協議会において総会時に、町村教育委員会連絡協議会において、夏季研修会として実施しており、管理職人権研修や教育課題等研修、事務職員研修、就学支援、人権教育等の教職員研修を実施した。</p> <p>また、就学支援委員会は年間6回実施し、適正な就学に向けて研修や就学相談、協議を行った結果、郡三町が連携を図り、児童生徒が自分らしく生き生きと過ごすことができることをめざした取り組みを行うことができた。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	教員が日々の研鑽に励み、教育委員会における諸課題等について研修会を実施することにより、質の高い指導が行える人材育成をめざし、継続して広域での研修事業を行っていく必要がある。		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	適切な学校評価と学校評議員制度の活用	担当課	指導課
<b>2 事業の目標</b>	学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握・反映し、その協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たし、もって開かれた学校づくりの推進、並びに学校・家庭・地域の連携協力を図り、三者一体となった地域ぐるみで教育活動を充実していくことを目標とする。 (田尻町立学校評議員設置要綱第2条より:平成20年4月策定)		
<b>3 事業の概要</b>	学校長の求めに応じ、学校評議員より、学校運営や評価等、意見を聴取する。		
	決算額	0 千円 (うち特定財源	0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	学校評議員制度としての活用はできていないが、町内1校園所ずつの利点を生かし、日々地域からの声に耳を傾け、教育活動に生かすよう取り組んでいる。		
	点検結果	C	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
<b>5 課題・対応策</b>	1小1中である利点を活用した制度の取り組み方を考えていく。		
	方向性	E	A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	教育コミュニティづくり推進事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	学校・家庭・地域の協働による、さまざまな取組みを地域全体で進めることにより、教育コミュニティづくりの活性化と豊かな人間関係づくりを育み、さらなる地域の教育力をめざす。		
3 事業の概要	平成13年に創設された「田尻中学校区地域教育協議会(たじりtry・あんぐる)」の実践を基に、地域住民の幅広い人材が地域ボランティアとして自主的に参画し、さまざまな事業を展開する。 学習支援活動、放課後子ども教室(学校開放)、 <b>子ども110番の旗運動(指導課)関連の子ども110番ウォークラリー大会、ハートフルコンサート</b> 、広報活動、講演会等を実施する。		
	決算額	513 千円 (うち特定財源	199 千円)
4 実績・点検評価	放課後子ども教室(学校開放)、子ども110番ウォークラリー大会、たじりハートフルコンサート、まなび舎事業(放課後学習)等、延2500人以上が参加。 子ども110番ウォークラリー大会、たじりハートフルコンサートはそれぞれ実行委員会形式により自主的な企画・運営方式により実施。より一層の教育コミュニティづくりがはかられた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校開放 35回実施、参加児童数1,683名、協力者345名</li> <li>・ 学習支援 49回実施、参加児童数3,406名、協力者111名、教員145名</li> <li>・ 110番ウォークラリー 参加児童数66名、協力者40名</li> <li>・ ハートフルコンサート 出演団体12団体、演奏曲数27曲</li> </ul> 各取組みにおいては、住民のニーズが高く、継続して事業を展開していくことが必要である。		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	田尻中学校区地域教育協議会(たじりtry・あんぐる)において、これまで継続して取組んできた成果として、地域ボランティアの人材確保と学校・家庭・地域を繋ぐ教育コミュニティの構築ができ、各実行委員会の自主的な活動も地域に定着している。 平成13年に創設された田尻中学校区地域教育協議会も <b>16年</b> を経過し、世代交代を視野に若年層の新たなボランティア人材の発掘が課題。 各取組みにおいて、充実した取組みを実施していくためには、各種団体の協力が不可欠であり、協力ボランティアの人数増が必要。 各取組みについて、継続しているから続けるというのではなく、当該年度の最初にそれぞれの取組みを実施するかどうかをtryあんぐるの全体会議で検討して実施している。 ボランティアについては、随時TDFチラシ等に募集の案内を掲載している。 地域の教育力活性化は、子どもたちの健全育成につながり、人づくりは町づくりにもつながることから、地域住民自らが率先して参加協力し、 <b>町と教育委員会が連携しながらサポートを行い</b> 、地域力の向上に努めなければならない。		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	放課後児童健全育成事業(なかよし学級)	担当課	こども課
<b>2 事業の目標</b>	児童福祉法に基づき、保護者が労働等により昼間家にいない小学校の児童を対象に、児童のより健全な育成を図るため、適切な遊び及び生活の場(居場所)を与える。		
<b>3 事業の概要</b>	<p>月曜日から土曜日の昼間に保護者がいない小学校の児童を対象に保護者に代わり、児童に家庭機能の補充を兼ねて生活指導を行う。</p> <p><b>【開設時間】</b>  平日 授業終了後から17時まで  土・三期休業中 8時～17時まで</p> <p>延長 17時～19時まで</p>		
	<b>決算額</b>	19,307 千円 (うち特定財源 9,744 千円)	
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>月曜日から土曜日の昼間に保護者が家にいない小学校の児童を対象に保護者に代わり、児童に家庭機能の補充を兼ねて生活指導を行い、児童の健全な育成が図られた。</p> <p>平成29年度 受入児童数 112名 (H29.4.1)  平成29年度から指定管理者制度を導入し、株式会社セリオによる管理運営が行われた。</p> <p><b>【平成28年度より】</b>  ① 土・三期休業中の開設時間を『8:30』から『8:00』に保育時間の延長を行った。  ② 入退室管理システム『たちメール』を導入したことにより、児童の安全管理の強化を図った。  ③ ネイティブスピーカーによる、英語活動を実施した。</p>		
	<b>点検結果</b>	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
<b>5 課題・対応策</b>	<p>共働きの家庭の増加、核家族化等により放課後児童クラブ(なかよし学級)の利用者は増えている。  指定管理者制度による管理運営を、安心安全かつ適正な事業内容となるよう、厳格に指導管理を引続き行っていく。</p>		
	<b>方向性</b>	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	教育情報の発信事業	担当課	指導課
2 事業の目標	<p>学校からは、児童生徒及び保護者向けにそれぞれ「たより」、「通信」を、教育委員会では主にホームページを活用し、学校園での取り組みや教育委員会の活動内容などを広く周知し、もって情報の公開と透明性の確保を行う。</p>		
3 事業の概要	<p>小学校では、学校便り・学年通信を最低月1回、中学校では、各学年ごとに月1回のペースで保護者に向けて情報を発信している。緊急でのお知らせは適宜行っている。 教育委員会からの情報については、町ホームページにて必要に応じて発信している。</p>		
	決算額	0 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p>情報の新旧、内容の軽重等を鑑み出すべき情報と、削除する情報の整理が必要であり、これらのバランスを考慮して、今後も積極的な情報開示・発信を行っていく。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p>町ホームページやfacebookの活用を図っていきたい。</p>		
	方向性	C	<p>A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>



**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	小・中学校施設・設備の充実事業	担当課	学事課
<b>2 事業の目標</b>	児童・生徒が安心して通学し、充実した内容の教育を受けることができるよう、安全面や衛生面などに考慮しながら、学校教育施設・設備の計画的な改善に努め、学校教育環境の向上を図る。		
<b>3 事業の概要</b>	<p>経年劣化や老朽化による学校施設・設備を計画的に改修し、教育環境の改善と学校教育の円滑化を図るため、平成28年度の小学校の非構造部材耐震改修等工事に引き続き、平成29年度は中学校の非構造部材耐震改修等工事及び小・中学校の空調設備の更新工事を実施する。</p> <p>中学校非構造 管理委託等: 4,768千円、工事: 59,519千円          小学校空調 工事: 17,820千円          中学校空調 工事: 22,918千円</p>		
	<b>決算額</b>	105,025 千円 (うち特定財源 千円)	
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>中学校においては、計画どおり体育館の天井部分を除く校舎の非構造部材の耐震改修等工事を円滑に行うことができた。</p> <p>また、平成29年度より、小・中学校における空調設備において、更新計画の策定を行い、老朽化した空調設備について計画的な更新を実施することができた。</p>		
	<b>点検結果</b>	A	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>平成30年度については、中学校における体育館天井部分の非構造部材の耐震改修等工事及び旧館の空調設備更新工事を行う。</p> <p>また、小・中学校の施設・設備については、個別での長期的な整備計画の策定を行い、計画的な改修に努める。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要</p> <p>C : 改善を加えて実施</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	子どもの安全見まもり事業	担当課	学事課
<b>2 事業の目標</b>	子どもたちを交通事故や犯罪等から守るため、日常的に町内の各種団体や地域の方々と連携しながら登校時・下校時の安全パトロールを行い地域全体で安全対策を推進する。		
<b>3 事業の概要</b>	<p>地区会をはじめ各種団体や個人ボランティアで構成する子どもの安全見まもり隊において、小学校1年生の登校と下校時間に合わせて、交通量の多い町内5箇所を中心に見まもり活動を実施する。</p> <p>また、平成28年度に町内全世帯にベストと帽子を配付し、地域全体で見まもり活動に参加できるようにした。</p>		
	決算額	0 千円	(うち特定財源 0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>見まもり隊の活動の拠点が従来は4箇所であったが、交通量の多い1箇所を加えて町内5箇所で見まもり活動を実施することにした。</p> <p>また、少しでも多くの方に参加してもらえるように各学期の終業式の日を「見まもりデー」と位置付けて、広報での周知も含めて重点的に実施している。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>地区会をはじめ各種団体や個人ボランティアで構成する子どもの安全見まもり隊においては、見まもり拠点が1箇所増えたこともあり、参加者が不足している状態であるが、人手不足を解消するために、少しでも見まもり活動へ参加できるようにと広報を通じて個人ボランティア等の募集を呼びかけている。</p> <p>また、各学期の終業式に実施していた「見まもりデー」においては、地域の子どもは地域で見守っていくという機運が高まるように新たに始業式の日も「見まもりデー」として位置付けて、見まもり活動の拡大を図っていく。</p>		
	方向性	A	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	防災教育の充実と危機管理体制の確立	担当課	指導課
<b>2 事業の目標</b>	<p>学校現場における防災教育の推進と、危険発生時の防災計画及び危機管理マニュアルの充実を進め、児童生徒が安全に避難できるよう日常的な意識向上を図る。また、自助・共助・公助の考え方のもと行動できる子どもの育成に努める。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p>校内緊急体制や防災避難計画に基づき、火災のみではなく、あらゆる自然災害に対応した訓練を行う。教員に対しては、自衛消防組織編成表に則って活動するが、状況に応じて臨機応変に対応できるよう意識の醸成も努める。</p>		
	決算額	0 千円 (うち特定財源	0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p>すべての状況に応じたマニュアルを作成することは困難で、想定外をいかに減らすかが重要になる。児童生徒は自らの命を守るためにどのような行動をとるべきなのかを第一優先に考えることとしている。また、地震発生時の避難については水平避難とし、被害状況を想定して複数のルートでの訓練も行っている。</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>今後は、さらに実践的な状況を想定し、要救助者や行方不明者の捜索等を含めた訓練ができるよう計画の見直しが必要となる。出火元のさまざまな位置を想定することで、常に同じ避難経路を通ることができない状況を生み出している。 大きな課題となるのが、教員の入れ替わりに対応できるようにしなければならない。</p>		
	方向性	C	<p>A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	幼稚園経営事業	担当課	こども課
<b>2 事業の目標</b>	義務教育及びその後の教育の基盤を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目標とする。(学校教育法第22条)		
<b>3 事業の概要</b>	幼児教育に必要な教材教具の購入、施設を管理する上で必要となる経費の支出を行い、幼児教育の環境整備に努めた。		
	決算額	16,178 千円	(うち特定財源 4,555 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生・児童委員、小学生、中学生等と共に事業を行うことで交流を図った。</li> <li>・遠足、運動会等の行事を行うことで、「見る・聞く・かぐ・味わう・触れる」といった五感を働かせ心身ともに発達を促した。</li> <li>・研修に参加することで、教諭の資質向上を図り、幼稚園教育の充実を図った。</li> <li>・園内の環境を維持向上するため、各教諭が施設内を日々点検し確認した。</li> <li>・平成29年度については、施設の非構造部材耐震改修等工事を行った。</li> </ul>		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
<b>5 課題・対応策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所運営との調整を行い、近隣市と連携を深め、多様化する保育ニーズに対応する。</li> <li>・今後、3歳児の一元化保育の実施等、保育および子育て支援サービスの拡充を検討する。</li> </ul>		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	幼稚園給食事業	担当課	こども課
<b>2 事業の目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の心身の健全な発育・発達、健康の保持・増進を助ける。</li> <li>・栄養・食生活に対する理解を深めることにより、望ましい食習慣・生活習慣を養う。</li> </ul>		
<b>3 事業の概要</b>	<p>幼稚園児(3・4・5歳児)に対し、栄養バランスのとれた給食を提供。 また、アレルギー児の給食については、可能な限り個々に合わせた代替食及び除去食を提供した。 その他、旬の食材や幼児教育の一環として園児が栽培した食材を給食に使用したり、季節行事に合わせた献立を提供したりすることで、栄養・食生活に対する理解を深めた。</p>		
	<b>決算額</b>	30,595 千円	(うち特定財源 3,984 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p><b>【実績】</b> 年間食数:55,082食 給食費:3歳児2,050円/月、4歳児2,110円/月、5歳児2,160円/月 給食委託料:17,367千円(保育所等を含む) 賄材料費:13,228千円(保育所等を含む)</p> <p><b>【評価】</b> 栄養士を配置することで食品構成に基づく献立が充実し、施設内の調理場にて調理することにより食の安全が確保され、園児に対し良好な給食事業が提供できた。</p>		
	<b>点検結果</b>	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>アレルギー対応食が年々増加傾向にあり、適切な給食を提供することに限界が生じる恐れがある。 対応可能な範囲を設け、対応できない場合の対策等を幼稚園等と調整のうえ、検討する。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施                      D : 既に事業目的が達成できたため終了 B : 目標どおりに実施                E : 事業の見直しが必要 C : 改善を加えて実施</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	幼稚園就園補助事業	担当課	こども課
<b>2 事業の目標</b>	幼稚園教育の振興に資するため、私立幼稚園の就園する園児の保護者に私立幼稚園就園補助金を交付することにより、保護者の経済的負担を軽減し、もって幼稚園教育の振興を図る。		
<b>3 事業の概要</b>	<p>田尻町在住の幼児が私立幼稚園に在園する場合に、下記の補助金を交付し、園児の保護者に対し、経費の負担を軽減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就園奨励費補助金 保育料及び入園料について、園児の属する世帯の所得状況に応じて算定した補助金(国庫補助制度に基づく) 308,000円(上限)</li> <li>・就園補助金 保育料及び入園料について、園児の就園年齢及び人数に応じて算定した補助金(田尻町単独) 48,000円(上限)</li> </ul>		
	<b>決算額</b>	6,179 千円	(うち特定財源 1,464 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園奨励費補助金 36人 4,607,900円</li> <li>・就園補助金 39人 1,571,000円</li> </ul>		
	<b>点検結果</b>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A : 目標を上回って達成</li> <li>B : 概ね目標どおり達成</li> <li>C : 目標を下回った</li> </ul>
<b>5 課題・対応策</b>	<p>本町では、魅力あふれる幼稚園づくりとして幼児教育環境の充実を目指し、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、保護者への経済的支援を行うことにより、子育てを支援する。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A : 拡大して実施</li> <li>B : 目標どおりに実施</li> <li>C : 改善を加えて実施</li> <li>D : 既に事業目的が達成できたため終了</li> <li>E : 事業の見直しが必要</li> </ul>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	生涯学習推進事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	<p><b>社会教育委員</b> 各地域における社会教育活動の実践や研究成果について交流を深め、研修を重ねながら本町の社会教育推進のリーダー役を担う。</p> <p><b>生涯学習の推進</b> 公民館講座や出前講座を実施することにより、住民のための生涯学習の機会を提供し、教養向上や健康増進、学習に対する意欲喚起を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進を目標とする。</p> <p><b>公民館活動の活性化</b> 地域の教育力低下など問題が多様化しているなか、国は公民館施設など教育資源の十分な活用を奨めている。このような中で公民館相互の緊密な連携の元に公民館運営の研究及び情報交換、諸問題解決に向けての研究討議を行い、本町唯一の生涯学習の拠点である公民館の運営を充実させていく。</p>		
3 事業の概要	<p><b>社会教育委員</b> 社会教育委員の資質向上を図り、先進事例の研究等のため各種研究会へ参加し、町にフィードバックする。近畿地区社会教育研究大会、全国社会教育研究大会、泉北泉南地区社会教育委員連絡協議会研修会、大阪府社会教育研究会議への参加。公民館講座企画実施など(三世代交流促進フォークダンス体験、伝承料理(押し寿司作り)講座、伝統文化継承の為にしめ縄作り講座等)。</p> <p><b>生涯学習の推進</b> 生涯学習推進を図るため公民館講座や出前講座を実施し、学習の機会を提供する。 ・公民館講座:語学講座、パソコン講座、児童・親子対象講座、男性対象講座、三世代交流促進講座、文化継承のための浴衣・着物着付け講座等の実施 ・出前講座:住民の主催する学習会や集会等に行政の職員が求めに応じて講師として出向き、行政の現状やしくみ・事業や施策などの情報を提供する。</p> <p><b>公民館活動の活性化</b> 近畿公民館大会、阪南公民館運営研究協議会への参加し、公民館施設の調査・研究を行う。</p>		
	<b>決算額</b>	527 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<p><b>社会教育委員</b> 近畿地区社会教育研究大会(4名)、全国社会教育研究大会(2名)、泉北泉南地区社会教育委員連絡協議会研修会(4名)、大阪府社会教育研究会議(4名)、研修内容について、次年度の公民館講座の企画及び社会教育関連事業等に反映できるかなど検証。</p> <p><b>生涯学習の推進</b> 公民館講座(全41回 延べ347人) 語学講座15回(英語であそぼう2コマ9人、英会話5コマ40人、中国語8コマ93人)、児童対象講座等9回(66人 うち英語であそぼう2コマ9人、英会話5コマ40人含む)、親子対象講座3回(38人)、その他21回(150人) 出前講座:1回(「防災の取り組みについて」主催者:太陽グループ 講師:総務部危機管理課 参加者19名)</p> <p><b>公民館活動の活性化</b> 他市町公民館事業や阪南公民館運営研究協議会等に参加することで、公民館クラブの情報や個々の公民館で抱えている課題などを情報交換することで、地域間の状況・問題点などが把握できた。</p>		
	<b>点検結果</b>	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>
5 課題・対応策	<p><b>社会教育委員</b> 本町の社会教育の今後の有り様について、具体化してゆく方策を選択する必要がある。情報の収集と検討が求められる。</p> <p><b>生涯学習の推進</b> 公民館講座について、講座内容の要望が多岐にわたっており、定員割れを起こす可能性もあるため、要望内容を精査した上で講座を開講している。次年度は語学講座(小学生向けの英会話、一般向けの中国語)については、開催回数増の要望も高い為、回数を更に増やす<b>事で利用者ニーズに対応します</b>。また、他市町公民館との情報交換を積極的に行い、講座内容は、<b>ニーズの把握に努めながら</b>更なる充実に努める。 出前講座に関しては受講申請が非常に少なく、講座の利用に関しての周知方法や利用しやすい方法を考える必要がある。</p> <p><b>公民館活動の活性化</b> 大阪府公民館振興協議会や阪南公民館運営研究協議会の役員が輪番制になっており、本町公民館だけでなく大阪府内の市町村公民館職員の配置状況が厳しく、そのため定例会や役員会へ参加できない公民館が増加傾向にある。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	社会教育団体育成事業	担当課	社会教育課
<b>2 事業の目標</b>	<p><b>田尻町子ども会育成連絡協議会</b> 田尻町子ども会育成連絡協議会の自主的な活動を推進し、子ども達の健全な育成と福祉の増進を図る。</p> <p><b>田尻町婦人会</b> 各種婦人問題の研究と「健康で明るく住みよい地域社会の実現」を目指す。活動を推進すると共に婦人の社会的地位の向上に努める。</p> <p><b>田尻町PTA連絡協議会</b> 子どもたちの健全育成とPTA会員相互の研究活動や交流活動・地域活動を目的としたPTA活動の活性化を図る。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p><b>田尻町子ども会育成連絡協議会</b> キャンプ・遠足・ヨットクルージング等の実施、大阪府子ども会育成連合会(ドッジビー大会等)及び泉南ブロック子ども会育成連絡協議会(グラウンドゴルフ大会等)への参加</p> <p><b>田尻町婦人会</b> 健康づくり推進(健康教室、栄養講座)、ゴミ減量等リサイクル活動、クリーン作戦、ごきぶり駆除薬づくり、福祉活動(給食サービス)、研修会、講演会、大阪府エイフボランティアネットワーク関連事業等</p> <p><b>田尻町PTA連絡協議会</b> 教育講演会の実施、広報紙の発行、泉南地区PTA協議会研修会参加、大阪府PTA協議会研究大会参加、近畿ブロックPTA研究大会参加</p>		
	決算額	640 千円	(うち特定財源 0 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p><b>田尻町子ども会育成連絡協議会</b> 子ども会会員数47名、年間参加者延べ人数 約479名</p> <p><b>田尻町婦人会</b> 婦人会会員数132名、年間参加者数 約800名</p> <p><b>田尻町PTA連絡協議会</b> 教育講演会52名参加、大阪府PTA協議会研究大会2名参加、近畿ブロックPTA研究大会3名参加</p>		
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p><b>田尻町子ども会育成連絡協議会</b> 子ども達を取り巻く環境が厳しい状況の中、役員及び保護者が子ども達の人権を十分に尊重しつつ皆が平等に社会教育を受け、社会的モラルをもって自主的に行動できる、心身ともに強い子どもになれるよう支援していく。</p> <p><b>田尻町婦人会</b> 会員数の減少と高齢化により、事業の拡充は難しいが、既存事業実施時に会員以外の参加を呼びかけるなどし、活性化を図る。</p> <p><b>田尻町PTA連絡協議会</b> 保幼小中各単位PTA間の連携を密に取り合い、情報交換等を充実させながら課題を共有し、解決していく。</p>		
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>



**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	子ども・若者育成支援事業	担当課	社会教育課
<b>2 事業の目標</b>	<p><b>たじりワイワイフェスタ</b> 青少年指導員と青少年とのふれあい体験活動とおして、青少年の健全育成を図る。</p> <p><b>成人式</b> 満20歳を迎えるにあたり、式典を開催し、社会人としての自覚を持っていただくとともに、祝い励ます。</p> <p><b>田尻町青少年指導員会事業</b> 田尻町における青少年活動を積極的に推進し、青少年健全育成と社会環境の整備を図る。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p><b>たじりワイワイフェスタ</b> ・子どもから大人まで楽しめるイベントを通じて、青少年指導員の活動、役割をしっかりとらう。 ・イベントを通じ互いに知り合うことにより、日々の防犯活動をスムーズにし、安全・安心なまちづくり活動につなげる。</p> <p><b>成人式</b> 一部「式典」と二部「思い出コーナー(新成人による)」を行い、最後に集合写真を撮影する。</p> <p><b>田尻町青少年指導員会事業</b> 街頭啓発活動、パトロール活動、定例会、青指主催地域のふれあい交流活動(たじりワイワイフェスタ)、大阪府青指協議会研修会参加、泉南ブロック青指協議会交流研修会参加等。</p>		
	<b>決算額</b>	1042 千円	(うち特定財源 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p><b>たじりワイワイフェスタ</b> 青少年指導員と参加者(約200名)のふれあいを通し地域の絆を深めることができた。</p> <p><b>成人式</b> 行政主導から新成人で構成する実行委員会形式での企画運営により手作りの成人式が強調できた(新成人73/160名出席)。</p> <p><b>田尻町青少年指導員会事業</b> 街頭啓発活動(2回/年)、盆踊り・秋祭りや夜店パトロール活動を通し、青少年の健全育成と社会環境の浄化に寄与した。</p>		
	<b>点検結果</b>	B	<p>A : 目標を上回って達成</p> <p>B : 概ね目標どおり達成</p> <p>C : 目標を下回った</p>
<b>5 課題・対応策</b>	<p><b>たじりワイワイフェスタ</b> 子どもたちを飽きさせないプログラムを毎年度工夫することが必要である。</p> <p><b>成人式</b> 警察学校ができるなど、これまでのような同窓会的な成人式から脱却し、出席者が誰でも来てよかったと思えるような形態に変更する必要がある、第二部をどのように開催するか更なる検討が求められる。</p> <p><b>田尻町青少年指導員会事業</b> 青少年を健やかに育むためには、学校・家庭・地域が一丸となって社会環境整備に努める必要がある。そのため、日常的な人のつながりが大切で、絆づくりを長期的な展望で進めてゆくことが求められる。</p>		
	<b>方向性</b>	B	<p>A : 拡大して実施</p> <p>B : 目標どおりに実施</p> <p>C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了</p> <p>E : 事業の見直しが必要</p>

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	生涯スポーツ振興事業	担当課	社会教育課
<b>2 事業の目標</b>	<p><b>体育協会事業費補助事業</b> 町民の心身・健康増進に寄与する為に、各種スポーツ競技を行い、大会並びに講習会等の参加を促進する。また、田尻町のスポーツイベントへの協力及び参加の促進を行い、スポーツの振興と発展に寄与する。</p> <p><b>大阪府総合体育大会運営事業</b> 府内各地域でスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、併せて府民の健康づくりに寄与する。</p> <p><b>スポーツ推進委員協議会事業</b> スポーツ基本法に基づき、町やスポーツ団体と連携しながら、スポーツ指導、スポーツの楽しさを伝え、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりに努める。</p> <p><b>さわやかニュースポーツ運営事業</b> 町民等にスポーツ活動を実践する場を提供し、参加者一人ひとりにスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、泉南地域住民の生涯スポーツの振興に寄与するとともに参加者どうしのコミュニケーションを図る。</p>		
<b>3 事業の概要</b>	<p><b>体育協会事業費補助等事業</b> ソフトボール、軟式野球、卓球、硬式テニス、バドミントン、スキー、ソフトテニス、レクリエーション、トランポリン、スポーツ少年団、ゲートボールの11団体に対する事業並びに活動補助を行う。また、青少年スポーツ(スポーツ少年団、水泳連盟)の育成に寄与するため、潮風グラウンド等の使用料を補助し活動を支援する。</p> <p><b>大阪府総合体育大会運営事業</b> 各市町村代表、地区代表により、日ごろの成果を競う。担当種目の会場運営経費(会場使用料、審判員経費、試合用物品等)を補助している。</p> <p><b>スポーツ推進委員協議会事業</b> スポーツの振興のため、各委員の知識並びに研修会等に参加した成果を基にして、町民にスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行う。(スポーツ教室の開催等)</p> <p><b>さわやかニュースポーツ運営事業</b> さわやかハイキングを実施。(体育協会レクリエーション連盟と共催)ハイキングを通じて自然の中でウォーキング運動することで、健康を促進し、また参加者同士のコミュニケーションが養われることにもつなげる。</p>		
<b>4 実績・点検評価</b>	<b>決算額</b>	2,692 千円 (うち特定財源 2,692 千円)	
	<p><b>体育協会事業費補助事業:</b> (1,391,683円)  <b>社会教育関係(児童育成)補助事業</b>  潮風グラウンド、プール使用料の補助(1,159,000円)  <b>大阪府総合体育大会運営事業</b>  泉南地区大会(軟式野球一般2部) (111,000円)  <b>スポーツ推進委員協議会事業</b>  スポーツ推進委員5名、スポーツ教室、子どもスポーツ教室  <b>さわやかニュースポーツ運営事業</b>  和歌山県加太友ヶ島(30,000円)</p>		
	<b>点検結果</b>	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
<b>5 課題・対応策</b>	<p><b>体育協会事業費補助事業</b> 一部の団体によっては会員が減少し、活動が縮小している。地方自治体としては、自発的な活動に協力、並びにスポーツができるような条件の整備に努めなければならない。</p> <p><b>大阪府総合体育大会運営事業</b> 地区大会の開催可能な場所並びに田尻町体育協会の加盟連盟等が少なく、また、各連盟等の人員も少なくなり大会に参加するのが不可能な団体が多い。</p> <p><b>スポーツ推進委員協議会事業</b> 現在、平成19年度以降は5名で実施しているが、日常的に各委員の時間的な制約及び負担が大きいため増員を検討しているが人員が見つからないため苦慮している。</p> <p><b>さわやかニュースポーツ運営事業</b> ニュースポーツをどのようにして、地域に根付かせるかが難しいことから、平成23年度より誰でもが気軽に運動できるハイキングを実施した。今後も効果的な事業を展開できるように継続して検討していく必要がある。</p>		
	<b>方向性</b>	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

1 事業名	KIX泉州国際マラソン事業	担当課	社会教育課
2 事業の目標	関西国際空港の開港を契機に地元9市4町が一つになって、広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として、マラソン大会を開催し、泉州地域のスポーツ並びに文化の振興を図る。		
3 事業の概要	泉州9市4町陸上競技会、泉州国際市民マラソン実行委員会主催の国際市民マラソンで、浜寺公園(堺市)をスタートして、りんくう公園(泉佐野市)をゴールとする42.195kmのフルマラソン大会。各市町姉妹都市ランナーの招致や物産展など地域の地場産業の活性化にも寄与する。また、フルマラソンと同日に行われる種目として第20回大会(平成24年度)よりフィニッシュ会場実施の1km及び2km種目の親子ランニングと第23回大会(平成27年度)よりスタート会場付近実施の10kmマラソンがある。また、今大会より大会名称が変更となり泉州国際市民マラソンからKIX泉州国際マラソンとなる。なお、第25回大会(平成29年度)をもって、事業実施の母体組織が、DMO(Destination Management Organization)に特化した観光地域作りを行う法人であるKIX泉州ツーリズムビューローへ移行となる。地元の9市4町や民間からは関西空港の運営会社「関空エアポート」と池田泉州銀行も加わった企業、有識者が参加。華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会や泉州観光プロモーション推進協議会へKIX泉州国際マラソン実行委員会を内包した形での事業継承となる。		
	決算額	1,800 千円	(うち特定財源 0 千円)
4 実績・点検評価	<b>フルマラソン</b> エントリー 5,925人(うち町内38人)、出走者5,244人(うち町内37人)、完走者数 4,501人(うち町内30人) <b>10kmマラソン</b> エントリー 345人(うち町内2名)、出走者255人(うち町内1人)、完走者数 201人(うち町内1人) <b>親子ランニング</b> 参加者 203組(406名) <b>大会従事者(ボランティア等)</b> 約5000人(うち田尻町111人) <b>観客総数</b> 約35万人		
	点検結果	B	A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った
5 課題・対応策	大会の実施に際し、多数の沿道スタッフ等としてボランティアの協力がなくては実施できないが、毎年、要員確保や調整に多くの時間を費やしてきた。 これまでの大会が、マラソン事業単体での実行委員会形式によって、泉州地域のスポーツ並びに文化の振興を図るという目的で行われていました。 平成30年度から事業実施の母体組織が観光地域作りを行う法人であるDMOのKIX泉州ツーリズムビューロー(以下、ビューロー)へ移行することによって、マラソン事業そのものが観光経営プロモーションの一環として運営されていくこととなり、ビューローが事業実施主体者として、インバウンド効果等による海外誘客の事業の一つとしてのマラソン事業運営の今後の展開が求められる。		
	方向性	B	A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施 D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要

**平成30年度 田尻町教育委員会 点検・評価票**  
(平成29年度実施事業)

<b>1 事業名</b>	町史編纂・文化財保護事業		担当課	社会教育課
<b>2 事業の目標</b>	<p><b>町史編纂・文化財保護</b> 町が大きく変貌する今、歴史的資料の保存・記録は急務であり、町の歴史を系統的に整理し、住民の地域理解の深化に寄与するとともに、後世に伝える。 町内における埋蔵・有形・無形文化財の調査とその保護を図る。 生涯学習・学校教育への文化財の活用を図ることによって、郷土愛を育成する。</p>			
<b>3 事業の概要</b>	<p><b>町史編纂</b> 町の歴史に関わる資料の収集とその保存を実施。収集済み資料に関しては、整理、分析、比較、検討を加えて掘り起こしを進める。</p> <p><b>文化財保護</b> 埋蔵文化財緊急発掘調査、その他の文化財調査により有形文化財の発掘、資料整備する。学校教育への民俗資料の貸し出しなど。 田尻歴史館の管理、及び耐震補強等保存修理工事実施設計の実施及び活用方法の検討。</p>			
	決算額	11,386 千円	(うち特定財源	328 千円)
<b>4 実績・点検評価</b>	<p><b>町史編纂</b> 資料の収集、整理による成果の内容や新発見については、普及業務として広報紙に記事掲載を行っている(12回、通号192号)。</p> <p><b>文化財保護</b> 埋蔵文化財について71件の開発調整、4件の試掘調査を実施した。また、文化財保護法に基づく発掘届・通知15件あり、そのうち指示事項は慎重工事13件、工事立会2件であった。 田尻歴史館においては、平成28年度に実施した耐震診断の結果を基に、耐震補強等保存修理工事に着手すべく、平成29・30年度において実施設計を実施している。 また、歴史館と他の社会教育施設との一体的な施設としての利活用のあり方などを検討。</p>			
	点検結果	B	<p>A : 目標を上回って達成 B : 概ね目標どおり達成 C : 目標を下回った</p>	
<b>5 課題・対応策</b>	<p><b>町史編纂・文化財保護</b> 家屋の建替え、世代交代が進み、歴史的資料の収集や聞き取りが難しくなっている。また、貴重な資料が散逸する危険性があり、継続的に資料調査を行う必要がある。 調査・保護制度を確立し、文化財保護意識の高揚を図る必要がある。 歴史館については、実施設計、耐震補強等工事と計画的に進めていく必要がある。</p>			
	方向性	B	<p>A : 拡大して実施 B : 目標どおりに実施 C : 改善を加えて実施</p> <p>D : 既に事業目的が達成できたため終了 E : 事業の見直しが必要</p>	